

第3回 西猪名公園管理運営協議会 議事要旨

1 日時 令和5年11月27日（月）13:00～15:30

2 場所 川西市商工会館4階 多目的ホール

3 出席者

足立委員（代理鈴江委員）、小坂委員（オンライン参加）、北村委員※
高津委員、辻井委員、長濱委員、松山委員、森委員、山田委員（代理井上委員）
※公務により途中退席。退席後は兵庫県まちづくり部公園緑地課より平田副課長兼整備班長が代理委員として出席

4 内容・議題

- (1) 西猪名公園に係る意見交換会
- (2) 第2回管理運営協議会における委員意見に対する対応

5 要旨

(1) 西猪名公園に係る意見交換会

① 千馬 佑紀（社会福祉法人有朋会 あいな清和苑）

【発表要旨】

- ・西猪名公園に隣接している施設の利用者や職員の声などについて発表させて頂く。
- ・公園西側のスロープに手すりがついておらず、またテニスコート横の階段の段差が高くて利用しにくいなどの声がある。
- ・側溝に設置してある鉄鋼材の土台の編み目が車椅子のタイヤ幅と同じであるため通過が困難な方がいる。
- ・園内を歩く際、手すりから手すりまでの間隔が長かったりベンチが少ない等の理由で疲れてしまう等の意見がある。
- ・車椅子が通りやすい道があれば良いのではないかとの意見がある。

【意見交換】

- 最近は多様なかたに配慮する「インクルーシブ」という考え方が主流である。この公園はスポーツ公園であるという背景もあり、比較的健常者の使用を想定していると思われる。そのため、そのあたりの見直しを頂きたいという意見があると考える。（長濱委員）
- 鉄鋼材の編み目について意見があったがそれは公園のものなのか（松山委員）
- 正方形の雨水が入っていく集水枡の蓋のことではないか（事務局）
- 公園のものであると認識している。また形は長方形で側溝に設置してあるもの

である。(千馬氏)

○後日現場を見て確認する(事務局)

○施設の方がどのように公園を利用されているのか具体的に教えていただきたい。(北村委員)

○当施設からは職員の方が付き添って車椅子で行かれる方の他、自分自身で公園を訪れる方どちらもいらっしゃる。人数で言うと概ね150名程が公園を利用し、散策等を行っている。今回テニスコート横のアイスの自販機を利用される方等から階段の段差が高い等の意見を聞いた。(千馬氏)

○県の方にお尋ねしたいが、伊丹市でもバリアフリー化が進んでいるが、今後公園がどのようなようになっていくのかについて分かる範囲で教えて頂きたい。

(辻井委員)

○具体的な予定はないが、老朽化が進んでおり、更新が必要な施設があると認識している。より具体的な話は今後管理運営協議会を通じて検討していきたい。

(北村委員)

○利用者は杖や歩行器を使う方も多いのか。また利用者は入居されている方が多いのか(長濱委員)

○杖の方か車椅子の方が多い。また、入居者のみならず、デイサービス等の方も利用している。(千馬氏)

○編み目が車椅子にはまる等のチェックは必要。頻繁に利用されている方ならではの指摘ではないかと感じた。(長濱委員)

② 後藤 万結子

【意見要旨】

- ・子育てサークル等で頂いた意見について発表させて頂く。
- ・ウォーターランドは小学生以上の子はあまり利用しない。そのため、小学生以上を対象とした施設であるウォータースライダーが設置されていることがアンバランスではないか。
- ・遊具や砂場が利用しづらい。またボール等で遊べる場所があればよいと考える。
- ・授乳施設等が設置されるとよいのではないか。
- ・花火ができる場所がないため、公園内で花火ができる場所があればありがたい。
- ・室内で飲食ができる休憩場や、売店等があれば利用しやすい。
- ・貸し会議室により、公園内でサークル活動や教室等を行ったり、市民が主催するイベントが行える仕組みがあれば良い。
- ・公園の入り口付近に駐輪場があるため、園路が狭くなってしまい利用しにくい。
- ・本等が置いてある学習スペースを設置すると利用者が増えると考え。

【意見交換】

○今の小学生の子はどこで遊ぶことが多いのか。(北村委員)

- 小学校の近くの公園で遊ぶことが多いという認識である。夕方頃になると学校終わりの子ども達が公園に遊びに出てくる。そうなると、幼児等の小さい子どもは体が小さく小学生の子ども等と接触したりすると危ないため、遊びにくくなるという状況もある。(後藤氏)
- 西猪名公園には、放課後小学生はあまり遊びにこないのか(北村委員)
- 現状を把握していないため正確な回答ができない。(後藤氏)
- 伊丹市の子育てサークルはどのぐらいの広がりがあるのか。またエリア毎に分かれて活動しているのか。(長濱委員)
- 兵庫県から補助金をもらい、伊丹市のむっくむっくルームという子育て支援センターと協働しての活動であり、市内全体でサークルの活動拠点を作り、近くに住んでいる方が希望をすればそういったサークルに参加できるという仕組みになっている。(後藤氏)
- その中で情報交換等を行っているのか、そうだとしたらそれはエリア毎の交流なのかももう少し広域で行われているのかを教えてください。(長濱委員)
- 行っている。日常の活動は各地域毎のサークルで行っているが、月に1回市全体の交流会を実施する。(後藤氏)
- 西猪名公園近辺のエリアでそういったものを立ち上げたら面白いのではないかと。
情報提供だが、最近公園情報が発信されているパークフルや、花火ができる公園が探せる「花火ナビ」というアプリ等もあり、様々な情報がネットで発信できるので、西猪名公園についてもそのような取組みができたらと考える。
砂場については、周りにネットフェンス等がなく野ざらしであるということか。(長濱委員)
- そうです。私自身が現地を確認したわけではないが、大きい砂場があるが野ざらしのため、清掃の後、猫の糞除けなどのネットをして頂けるとありがたいという意見が出てきている。(後藤氏)
- ネット等については対応済みです。(事務局)

③ 茶谷 和子

【意見要旨】

- ・展望広場付近で自然体験のプログラムを担当している。
- ・ネイチャーゲームやネイチャークラフトの場所として展望広場及びその付近の小道を利用しているが、傾斜等の都合で全体を把握しにくい。また小さい子どもが転んだりする恐れがあるため、もう少しフラットな場所があればと考える。
- ・遊具等も大切だが、もう少し自然環境が豊かだったら自然環境の学習プログラム等で利用できるのではないかと考える。

【意見交換】

- 活動はどのあたりで行っているのか。(長濱委員)
- 基本的には阪神間で活動を行っている。
- 私も関わっているが、イベントを開催すると、当初は不安がっている子どもたちが、イベントを通じて自然とふれあい、どんどん良い姿に変わっていく。そういう姿をみると、自然体験というのはこういうことではないかと感じる。そのため、こういった活動を継続させるためにも、安全面についてより充実させ、自然の中で遊べる公園になれば良いと考える。(森委員)
- 西猪名公園でネイチャーゲームを行うとしたら、展望広場が一番良い場所と考えるが、全体的にもう少し自然が豊かだったら、使えるエリアが増えてくるのではと感じている。(茶谷氏)
- 大きなエリアが必要な訳ではない。(森委員)
- ネイチャーゲームについてお聞きしたいが、1回あたりどの程度の人数を想定しているのか。また親子でということだが、参加される子どもの年齢はどれくらいか。その他、ネイチャーゲームを行う上で、自然豊かであればとのご意見を頂いたが、具体的にはどのような自然環境があればよいと考えるか教えて頂きたい。(北村委員)
- 参加人数については親子10組でだいたい20名程度が一般的であると考えている。それぐらいの人数であればゆっくりと活動することができる。子どもの年齢層については小学校低学年の方が多という認識である。また必要な自然についてだが、これについては特段難しい条件がある訳ではなく、数種類程度の樹種があれば可能であると認識している。木だけではなく草っ原のようなところも必要。(茶谷氏)

④ 筒井 為弘

【意見要旨】

- ・西猪名公園へは辻井委員の活動の手伝いを行う形で関わっている。その他、地域の公園の管理等を自治会で行っており、そこで行っている活動等についての紹介もさせて頂く。
- ・西猪名公園で開催されるイベントについて情報が十分に行き渡っておらず知らなかったとおっしゃる方が多い。
- ・地元の公園管理についてだが、公園は安全が一番であると考えており、園内施設に危険が無いかの確認を行っているほか、放置自転車等への対応を実施している。
- ・公園で発生する会話等のコミュニケーションが非常に重要であると認識しており、高齢の方等もそういったことでストレスの緩和等に繋がるのではと考えている。
- ・こどもの居場所づくりにも取り組んでいる。

【意見交換】

- 西猪名公園は地域からするとどのような公園か。(長濱委員)
- 正直普段はあまり西猪名公園に関わることは少ない。本日は西猪名公園に関する取組みや意見等をお聞きし地域の公園管理に取り入れられることはないかという意図できた。また、参考としてこちらの地域で行っている公園管理の状況等についてもお話させて頂いているということである。(筒井氏)
- イベントの情報が伝わっていないというお話があったが、そのような周知方法が効果的であると考えるか。(井上委員)
- 市の広報や市の施設等と連携しイベントに関するチラシやポスター等を設置する方法等も考えられるのではないか(筒井氏)
- 県の広報が市民レベルまで降りていかないと言うことは課題であると考え。公園の規模も小さく市の公園のような大きさなので、県などが行う情報発信の方法がかみ合わないのかもしれない。(長濱委員)
- 市も情報発信等についてリンクさせていけたらと考える。(高津委員)
- 井筒様は普段何から情報を得ているのか。また回覧板のようなものはあるのか。(北村委員)
- 情報は伊丹市報から得ることが多い。またコミュニティ掲示板や回覧板もあるので、必要があれば利用することが可能である。(筒井氏)
- 回覧板はよくご覧になるのか(北村委員)
- よく見る。自治会員であれば全ての家庭に回る。(筒井氏)
- 使いたいと思っている方は情報を取りに行くが、そうでない方にどう届けるかについては検討が必要と考える。県立の公園ではあるが様々な面で近隣の自治会との連携が必要になってくると考える。(長濱委員)

⑤ 岸本 和子・寺田 由起子

【意見要旨】

- ・西猪名公園の植栽ボランティアとして公園に関わっている。
- ・園内を散策する方がゆっくりの楽しめるような植栽があれば非常に良いと考える。
- ・そういった植栽があることで、会話等が生まれ、憩いの場としての利用ができるようになるのではと考える。
- ・植栽豊かで楽しめる公園とするために、ボランティアの確保について検討を行う必要があると考える。
- ・テニス利用者等、スポーツ施設等を利用しに来た若い方にもお花に興味を持って頂きたいと考えている。
- ・園内施設について、例えば昆陽南公園には大きな滑り台があるが、そのようなシンボリックな施設があれば良いのではないかと考える。

【意見交換】

- 緑や花があることで、公園でのコミュニケーションが生まれる場所にするというのはいい提案であると考えます。またスポーツ利用者等普段花に興味が無い方に興味を持って頂くというのは非常に大切な考え方と思われる。(長濱委員)
- 西猪名公園は駅前で立地が大変良いが、周辺に住宅が少ないのでどのように足を運んでもらうかについて検討が必要と考えます。また維持管理のメンバーも少ないため、どのように人員を確保するかも課題である。これについて例えば花壇等を整備して公園に足を運んで頂いた方に興味を持って頂き、今度はその人が発信する側になってもらう、または花壇等の維持管理に参加してもらうというような方法が考えられる。
また、マンションに住まれていて花壇を作れない方等へ向けてイベントを企画することも考えられる。
植栽・花壇作りについては、作って終わりではなく、その後継続して関わってもらう仕組みの検討や仕掛けを行うことも大切であると考えます。そういった意味で珍しい木等を植えてそれを見に来てもらう等様々な方法を検討する必要がある。みんなが求めることを常に考え続けて、いろんな人に公園や花壇に興味を持ってもらう事が大切。その中で徐々に仲間を増やしていくことが求められるのではないかと。(辻井委員)
- マンション住まいの方の潜在的なガーデニングに係るニーズは一定数あると考えます。例えば公園がそういった取組みの種地になる可能性もある。スポーツ好きの方が継続して訪れてくれる公園なのでPRの場になり得ると考えます。(長濱委員)
- 西猪名公園に対する思いについて理解した。皆様のご意見をちょうだいしながら公園管理等について取り組んで参りたい。(平田委員)

⑥ 新免 篤司(※辻井委員による意見代読)

【意見要旨】

- ・公園を多目的に利用してもらうため、またそういった情報を広く周知するために、西猪名公園の球技場や広場・駐車場等を利用した親子参加型のイベントを提案する。
- ・球技場で正月期間にたこあげ、コマ回し、羽根つき、メンコ等の「昔の遊び」イベントを実施してはどうか。
- ・伊丹市立小学校で3年次に実施する「昔の遊び」を聞く授業とイベントをリンクさせればなお良いのではないかと。
- ・伊丹空港から離着陸する飛行機の機種と会社名を当てるゲームの実施。
- ・過去に園内で実施していた飛行機写真展示等を参考にしたり、ちびっ子カメラマン

による飛行機のスマホ撮影会を実施。

- ・これらのイベントは園内が混雑しすぎないように時期等に配慮し、ウォーターランド休園期間中かつ駐車場利用が比較的少ない時期で実施するのが望ましいと考える。
- ・イベントに参加される方は駐車料金を無料とすれば良いと考える。

【意見交換】

- 川西市でも市民交流や市民活動が盛んな公園があり、そこでベーゴマ等を行ったことがある。こういった取組みで世代を超えた交流が発生すると思われる。(鈴江委員)
- 今の若い方には、我々世代がやっていた昭和の遊びが一周回って見たことがない新しい遊びとして捉えられることもある。(長濱委員)
- 公園に係る情報発信を是非強化して頂きたい。情報が届けばイベントや活動に興味を持って公園に足を運んで下さる方も多いと考える。人が集まればいろんな情報を交換・共有する場所としても機能する。(辻井委員)
- 目的型の小さい公園であるため利用が限られるのではないかと考えていたが、花と緑、昔の遊び等様々な意見を頂いた。今後どのように反映させてくのかを考えて行きたい。(平田委員)
- 県としては県立と言うことで広域的な施設という意識があると思われるが、公園の性質上や規模的に地域密着という意識も必要なのではないかと考える。委員の方や発表者の方の意見を聞いていると色々な魅力がある公園であると考えてるので、ポテンシャルをもっと発揮していけたらよいのではないかと。(長濱委員)

【総括】

- 使い方や整備・安全性については行政目線で日々取り組ませて頂いているが、頂いたご意見のように、自由な発想で使い方等について検討する必要があるのではと感じた。西猪名公園はもちろん県の公園という所はあるが、伊丹市にもまたがっており、市としてもできることについては前向きに取り組んでいきたいと考えている。(高津委員)
- 放課後になったら就学前のお子さん及びその親御さんが公園から姿を消すという点について、広場等の使い方に係るゾーニングもできれば良いのではないかと感じた。またボランティア不足については川西市もPR方法等で色々検討しているところなので取組み方法について参考にさせて頂きたい。(鈴江委員)
- 本日の意見はとりまとめのうえ部会の中で検討の材料にさせて頂くほか、後日公開し共有させて頂く。様々なご意見を頂き、非常に充実した意見交換会になったのではないかと感じた。(長濱委員)

(2) 第2回管理運営協議会における委員意見に対する対応

事務局より【資料2】に基づき説明

- 多目的広場の利用用途について駐車場にすると聞いているが、その他の活用方法について教えて頂きたい。(松山委員)
- ウォーターランド開園時は臨時駐車場にすることもあるが、通常時は子どものボール遊び等の要望があった場合にそちらに案内する。広い場所ではないが、イベント等での活用についても今後検討していきたい。(事務局)
- 日本は管理がきちんとしているので、何かにしてしまうと何かとしての利用し難い面もある。そういった意味では、多目的な場所として、曖昧な整理にしておくことで柔軟な利用ができるという面もあると考える。(長濱委員)
- ゾーニングについては事務局の考えで作ったが、いろんな意見をもらいながら精査していきたい。(平田委員)
- ルール作りについてはある程度方向が決まってきたが、ゾーニングについては見直しをしていけば良いのではないかと考えるので必ずしもフィックスする必要はないと考える。(長濱委員)